

いながわ 猪名川河川レンジャー News Letter

TOPICS

- ・活動報告等 第9回 猪名川流域意見交換会
第13回 猪名川クリーン作戦
猪名川河川レンジャー 新たな活動に向けた勉強会
河川レンジャーと地域との連携「数珠つなぎインタビュー」
- ・コラム 「過去は未来を解く鍵」-災害を防ぐ視点
- ・お知らせ 河川レンジャー、河川レンジャー協力員の募集

2015 vol.3
3月発行

2016年3月発行

第9回 猪名川流域意見交換会

猪名川河川レンジャー主催で、猪名川流域の住民・住民活動団体と意見交換を行いました。

例年、猪名川河川レンジャー主催で、「猪名川流域意見交換会」を開催しています。今回、「猪名川のい〜な」作品応募者とその関係者13名と住民活動団体12団体(13名)に参加いただきました。前半部分では、「猪名川のい〜な」入賞者の表彰式を行いました。後半部分では、様々な団体の取り組みの紹介の後、意見交換を行いました。全体を通じて、猪名川に対する様々な思い、考えを聴くことができ、改めて猪名川の良さを考えさせられました。



「猪名川のい〜な」表彰式



意見交換の様子
とき：平成28年2月11日(木・祝)
ところ：猪名川河川事務所(池田市)

- 参加団体(12団体)
- ・尼崎地球温暖化防止活動推進会からの紹介(個人)
 - ・猪名川ヒメボタルの会
 - ・エドヒガンを守る会
 - ・NPO法人環境にやさしいまちづくり推進会
 - ・NPO法人野生生物を調査研究する会
 - ・園田中之島を水害から守る会
 - ・溪のサクラを守る会
 - ・ナデシコガーデンズ
 - ・能勢川キリスト教会(能勢川ハイブルキャンプ)
 - ・南花屋敷最明寺川づくりの会
 - ・みのお川を美しくする会
 - ・流域ネット猪名川

第13回 猪名川クリーン作戦

猪名川をきれいにしようとして様々な団体が集まって、清掃活動を行っています。

猪名川クリーン作戦は、「猪名川クリーン作戦実行委員会」が主催となり、今年で13回目をむかえました。今年も2月6日(土)に猪名川流域の22箇所を実施され、約千七百人の方が参加されました。私たち猪名川河川レンジャーは、関係自治体や各河川管理者などに、本取り組みへの協力に向けた意見交換を行っています。当日は、「猪名川町 笹尾付近」、「川西市 多田桜木」、「伊丹市 桑津付近」の3箇所に参加しました。大勢の方と一緒にゴミを拾い、身近にある猪名川の素晴らしさを感じました。

猪名川クリーン作戦 活動位置図



猪名川町 笹尾付近



川西市 多田桜木



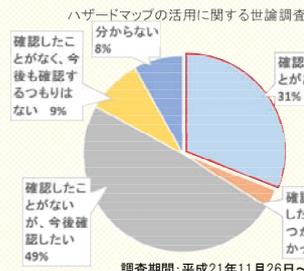
伊丹市 桑津付近(桑津橋 上流 河川敷)

「過去は未来を解くカギ」- 災害を防ぐ視点

平成21年に国の機関である内閣府が行ったハザードマップの活用に関する世論調査では、ハザードマップの防災情報「確認したことがある」と答えた人の割合が約3割にとどまっています。台風や地震・津波などの自然災害は、いつ、どこで、どのような規模で起きるかわかりません。災害時はその時の対応しだいで、命を守ることができません。

災害の歴史を知り、災害の教訓を生かし、避難場所とそこにたどり着く時間や道筋を考えておくなど、普段の備えが大切です。「過去は未来を解くカギ」という言葉があります。歴史を振り返ると、過去に起きた災害から多くの教訓や知識が得られます。その教訓や知識が、自分の身を守ることに繋がります。これが、災害の歴史に学ぶ意味ではないでしょうか……

*ハザードマップ：災害が想定される場所・避難場所などを表示した地図



猪名川河川レンジャー 新たな活動に向けた勉強会

楽しみながら、防災・外来種・水の特性を学ぼう！

私たち猪名川河川レンジャーは、学校での出前講座を想定し、防災・外来種・水の特性などを学びました。その中から、「水の特性」と「流域」をテーマにいずれか一つを先生役として授業を行いました。先生役は生徒役の方に楽しく学んでもらうために、様々なアイデアを出し合いました。出前講座を開催するときには、勉強会の体験を活かしていきたいです。

*流域：山や田畑、住宅地から流れる水が、ある川に集まるそれら一帯の区域



「水の特性」のマジック



1円玉にこれだけの水がのります!



「猪名川の流域」を再確認!

猪名川河川レンジャーに関するお問い合わせは、下記ウェブサイト/メールアドレスをご利用頂くか、猪名川河川事務所 管理課までご連絡下さい。

- 猪名川河川レンジャー ウェブサイト：<http://iranger.web.fc2.com/>
- 猪名川河川レンジャー メールアドレス：inagawa_ranger@yahoo.co.jp



猪名川河川事務所 管理課
池田市上池田2丁目2番39号
TEL:072-751-1111(代表)

第6回 数珠つなぎインタビュー

猪名川流域の活動団体を数珠つなぎ形式で紹介します

今回で第6回をむかえる数珠つなぎインタビューは、「伊丹市昆虫館」の長島 聖大さんに応じていただきました。伊丹市昆虫館友の会・伊丹市昆虫館主催の「虫の冬越し観察会」に参加し、お話しを伺いました。

◆インタビュー

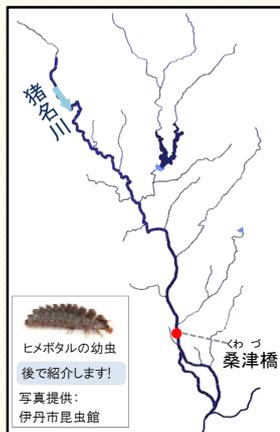
第5回数珠つなぎインタビューの「川西自然教室」の恵須川 満延さん

からのご紹介です。



(写真右側：長島 聖大さん)

と き：2016年2月6日(土)
と ころ：猪名川桑津橋付近河川敷 (伊丹市)



実施場所



ヒメボタルの幼虫
後で紹介します！
写真提供：伊丹市昆虫館

「伊丹市昆虫館友の会」は、どのような集まりですか

一言でいうと伊丹市昆虫館のファンクラブです。「昆虫をより深く知りたい」、「昆虫が好きなもの同士で交流がしたい」ということで、伊丹市昆虫館とかわつて、自然への学びを深めていこうとする人たちの集まりです。

「1」の時期におすすめの昆虫は何ですか

マイマイカブリという昆虫です。朽ち木のややゴミの下とかに身を潜めて冬越しをしているところで見つかります。マイマイカブリは地域によって体型や色などにちがいがあつ

て、猪名川の個体群は、深い藍色をしていて、とても美しいです。
肉食で、カタツムリ(マイマイ)も食べますが、ほかの小さな生き物も食べます。



マイマイカブリ
写真提供：伊丹市昆虫館

「昆虫を見つける活動には、どのような特徴がありますか」

昆虫は春・夏・秋・冬 いつでも楽しめます。昆虫採集は楽しくて、子ども大人も夢中になります。とりわけ子どもは目線が昆虫がいる地面に近くて、大人よりも虫採りの上手な子どもが多いです。冬でも石の下や朽ち木をさぐってみると、冬眠している昆虫を簡単に見つけることができます。このように季節を問わず観察や捕獲が難しいのが、昆虫を見つける活動の特徴です。昆虫は自然を学ぶためのとてもよいきっかけになると言えます。

「子どもたちに関心を持ってもらうにはどうしたらよいでしょうか」

小学1・2年生ぐらいに昆虫好きという子どもは多く、関心を持ってもらいやすいです。小学5年生ぐらいになって、昆虫好きな子どもはガクッと減ってしまう。「子どもが昆虫を好き」という部分を大切に、のびのびとさせてあげることが大事です。

「昆虫の話に少し戻りますが、他に注目している昆虫は何ですか」

ヒメボタルは、生息している箇所がある程度動いたりするので、見守っていくことが大事ですが、どういふところを好んで生活し

ているのかを知るために、僕らは幼虫がいるところを調べたり、よく飛んでいる場所をプットしたり、活動しています。

「10年前と比べて、昆虫の種類が変わったりしていますか」

「10年前では、増えた昆虫が多いかもしれないです。外来種の侵入というものが多く、伊丹市内だけでも、少なくとも10種類ぐらいは新たな外来種が見つかっています。例えば、ヘクソカズラゲンバイやアワダチソウゲンバイ(カメムシの一種)などです。阪神間は幹線道路があり、空港も近くにあります。そういった流通のかなめがあつて人間の活動がさかんなところは、外来種が増えやすいところです。」

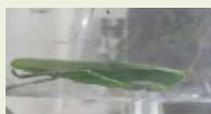
「地域とどのような交流をされていますか」

「伊丹市昆虫館友の会」と協力し、地元商店街の方とキリギリスを採ったり、地域の方と交流させてもらっています。

「地域の活動では、どのようなアピールが必要だと思いますか」

猪名川クリーン作戦を通して、地域の自治会、近くの企業、郵便局、スポーツ団体とかに参加を呼びかけています。交流する方が多くなり、昆虫の観察会の参加者も増えてきました。

見つけた昆虫の紹介！！



クビキリギス



オオハサミムシ



オオカマキリの卵



ヒメボタルの幼虫

他にも、ゴマダラチョウの幼虫など……

お知らせ

猪名川流域で活動する河川レンジャー・河川レンジャー協力を募集しています！

河川レンジャーは、人と川(自然)との関係を深める取り組みを行っています。

これは、猪名川や猪名川を構成する田畑・里山を理解し、次の世代に貴重な財産として残すための活動です。

そのためには、行政との連携も必要です。野外活動に興味を持たれている人はもちろん、防災や衛生・文化など広い分野の人の参加を期待しています。思わぬ出会いがあつて、楽しい活動が出来ると思います。(奥村 河川レンジャー)

興味のあるお方は、下記までご連絡ください。

【連絡先】猪名川河川事務所 管理課
TEL:072-751-1111(代表)



◆河川レンジャーの感想・メッセージ
昆虫を切り口に猪名川でさまざまな活動を続けておられる専門家と昆虫好きの愛好家たちの活動に参加。子どもはみんな昆虫好きということだが、長じて離れて行ってしまう現実。今日の冬越し中の昆虫観察みたいな機会を通じて、楽しさを再発見してもらいたい。冬でもみんな探せば多くの昆虫たちを見つけれられる。
今回、外来種のセアカゴケグモも見つかり、ヒメボタルの幼虫も見つかった。
河原は繋がっているの探せば多くの地点で見つかるかもしれない。つい見落としがちな昆虫たちの存在、ちよつと視点を交えれば昆虫探し！奥が深い世界。
猪名川のあちこちで開催されるこんな観察会に参加してみませんか！
(佐藤 河川レンジャー協力員)

次回の数珠つなぎインタビューは、昆虫に関する取り組みを実施されている団体と調整中です。